

2024年度入社式について

2024年4月1日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、以下の通り「2024年度入社式」を行いましたのでお知らせいたします。

鉄道総研は、2024年4月1日（月）10時から、国立研究所において、「2024年度入社式」を行いました。

入社式では、役員立ち会いのもと、渡辺郁夫理事長から新入職員22名一人一人に辞令が手渡されました。引き続き、理事長から新入職員へあいさつがあり、それを受け、新入職員を代表して上田滉也が答辞を述べました。



写真 理事長から辞令を受け取る新入職員

理事長あいさつ要旨

本日は鉄道総研への入社おめでとうございます。22人の皆さんを鉄道総研に迎えることができ、大変嬉しく思います。

さて、現在日本の鉄道は、ポストコロナ時代の社会情勢の変化や、少子高齢化に伴う労働人口の減少といった大きな変化の中にいます。また、地震や大雨による災害など自然災害の激甚化、カーボンニュートラルの実現への対応など、取り組むべき課題は山積しています。そのような中、鉄道総研は、「革新的な技術を創出し、鉄道の発展と豊かな社会の実現に貢献する」というビジョンのもと、これらの課題解決に向けての活動を全力で取り組んでいるところです。今日からは、皆さんの力を加え、これらの活動を加速させていきたいと思えます。

本日より、皆さんは鉄道の専門家として仕事をしていくこととなりますが、仕事を進めるにあたって、皆さんに次の3つをお願いします。

第1は、まずは鉄道の現場をしっかりと見て、知ってほしいと思えます。鉄道の課題は、現場にあります。鉄道における仕事のやり方、仕組み、導入されているシステム、技術が、なぜそうなっているのか、改善すべきことがないかなど、問題意識を持って鉄道に向き合ってくださいと思えます。

第2は、自分の専門分野の知識、技術をしっかりと身に付け、それを鉄道でどのように役立てるのか考え、いろいろな課題に対応していく、そのような力を鍛えてほしいと思えます。また、最近は複数の技術分野のデータや技術を活用して問題解決を目指すなど、より技術の分野横断的な取組が増えてきています。自分自身の専門分野だけでなく、広い視野で鉄道の課題を捉えてほしいと思えます。今、鉄道は大きく変わりつつあります。このような変化は、新たなニーズや、技術革新の機会を生み出します。このようなときに、様々な課題に柔軟に対応できる力を鍛えておくことが重要であると思えます。



写真 新入職員へあいさつする渡辺理事長

第3は、「デジタル技術による革新、DX」や、地球温暖化対策のための「グリーントランスフォーメーション、GX」といった視点を常に磨いていってほしいと思います。鉄道におけるオペレーションやメンテナンスにおいて、省力化やコスト低減等のニーズが高まっています。これらを実現するためのDXは鉄道のいろいろなところに想定を上回るスピードで導入が進んでいます。今後、一層これらの技術の活用が重要となるでしょう。GXについても、カーボンニュートラル実現に向けた鉄道の脱炭素の技術開発は喫緊の課題です。皆さんの新鮮な感性を、これらの研究開発に生かしてほしいと思います。

鉄道総研は、鉄道技術の基礎から応用までを扱う、そして幅広い技術分野を扱う研究所です。研究にじっくりと取り組める環境があり、そして皆さんの取組みの一つひとつが鉄道の将来に直接的に貢献することとなり、それを実感できる魅力もあります。この鉄道総研において、皆さんが「夢」や「目標」の達成に向けて、伸び伸びと活躍されることを期待します。

何事も前向きに考えて、そして新しい技術にも果敢にチャレンジしながら、「鉄道の未来を創る」研究開発に取り組んでいってほしいと思います。

皆さんのこれからの活躍を期待しています。ともに元気に頑張っていきましょう。

新入職員代表者答辞要旨

本日は、私どものためにこのような入社式を開催していただき、誠にありがとうございます。一同を代表し、心より御礼を申し上げます。

ただいま、理事長より心温まる歓迎と激励の言葉をいただき、深く感銘を受けるとともに身の引き締まる思いでいっぱいでございます。私どもは、本日より公益財団法人鉄道総合技術研究所の一員として皆様とともに働けることを、誠に光栄に存じております。

本日賜りました言葉を胸に、大きく変化し続ける社会情勢に対応した革新的な技術を創出し、鉄道の安全と発展、ひいてはより豊かな社会の実現に貢献できるよう、邁進していく所存です。

しかしながら、私どもは若輩ゆえ、至らぬ点多々あるかと存じます。鉄道総研の名に恥じぬよう日々精進し、皆様とともに業務を力強く推進できるよう、着実に前進して参ります。どうぞご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、答辞とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。



写真 答辞を述べる新入職員